

おなごら

# 議会だより

1月  
2015 vol.136



補正予算	3
予算特別委員会	4～5
一般質問	6～8
防災対策要望	8
11月臨時会	12

# 新年のごあいさつ



南陽市議会議長

遠藤 榮吉

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかな初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は市民の皆様からご理解とご協力を賜り、各議員が議会活動に精励し、地域振興や市政発展に尽力できましたこと心から御礼申し上げます。

南陽市議会では、本会議のインターネット中継や議会だよりの充実を図り、常に開かれた議会を目指すとともに、より豊かな住みよ

いまちづくりのために、今後さらに努めてまい

る所存です。

結びになりますが、南陽市と市民皆様様にとりまして輝かしい年になりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



## 12月定例会

### あらまし

大雪で低温の寒い中、12月定例会は12月5日に開会。衆議院の解散で選挙戦が割り込んだの議会となり、19日まで開催された。7月に白岩市長が就任以降、空席だった副市長が決まり白岩執行体制が整った。承認1件、条例その他案10件、補正予算案5件、計16件を全て同意、可決した。新文化会館の名称は「南陽市文化会館」の予定で、運営や受け皿についての質疑が多く出された。

予算特別委員会は17日に開催。補正の総額は1億1865万円。補正の主なものは、市庁舎駐車場整備工事4500万円、財政調整基金に4276万円。財源は災害復旧事業予算が査定により確定し、減額分を充当した。

議会最終日に副市長の人事案が上程され、全会一致で大沼豊広氏（議会事務局長）を承認した。1月1日就任。

### 5議員が一般質問 白岩市長と丁々禁止

8日(月)10時から午前中2人、午後3人が一般質問に立った。傍聴者は14人。

○船山利美議員  
米価下落の農業政策  
○高橋一郎議員  
新文化会館の運営と南陽物語  
○梅川信治議員  
また、いわゆる低所(4〜5頁参照)

災害対策と防災計画

○片平志朗議員

高齢者見守りと中学校の武道教育

○佐藤明議員

来年度予算編成方針について

それぞれの意見を述べ、再質問では白岩市長と真摯に真剣に議論した。(一般質問の記事は6〜8頁をご覧下さい)

### 集団的自衛権の行使に反対する請願は全会一致で採択

傍聴者31名と関心が高い中、白鳥総務常任委員長から11日及び19日の総務常任委員会では全会一致で請願が採択されたこと、南陽市の報告があった。国会及び政府に対する意見書提出も全会一致で採択した。

## 副市長に 大沼 豊広 氏



## 防災行政無線同報系システム設計委託料

**1,292万円**

非常時の防災情報等を、屋外拡声子局（スピーカー）や個別受信機を介して、市役所から住民等に直接・同時に伝えるシステム設計を委託するものです。



屋外拡声子局  
(イメージ図)

## 災害復旧事業費

**6,802万円**

7月の豪雨により被災した市道及び河川等について、国の補助金を活用しながら速やかに復旧するためのものです。



対象者は、市民税非課税の高齢者などです。

**749万円**

### 福祉灯油（購入助成）

被保護者の医療実績に基づき、今後、更に医療費の増加が見込まれるためのものです。

**2836万円**

### 生活保護扶助費

従来、特定不妊治療を受けている女性に加え、11月から男性の不妊治療を受ける方も対象とするものです。

**50万円**

### 特定不妊治療費助成

新文化会館建設のため、現在工事用地となっている市庁舎駐車場を整備するものです。

**4500万円**

### 市庁舎駐車場整備

## その他の主な事業

☆財政調整基金積立金	4,276万円
☆宮内こども園整備事業費補助金	1,000万円
☆商店街街路灯LED化補助金	107万円
☆小学校暖房器具修繕	205万円
☆中学校各種上位大会出場補助金	117万円
☆市民会館PCB廃棄物処理委託料	242万円
☆ハイジアパーク南陽ジェットバス修繕	65万円
☆災害復旧事業費査定による減額	△1億円
☆衆議院議員選挙費	1,545万円

## ふるさと納税事業費

**200万円**

寄附件数の増加に伴う謝礼の品代として追加するものです。

平成26年12月25日現在、370件1,338万円の実績です。



# 高齢者にやさしい除雪 福祉灯油（購入助成） ハイジアパークの料金見直し



## 予算特別 委員会

船山 利美 議員

### 医療扶助費の増加 要因は

◎24年度比、医療扶助費の受給者数推移はど  
うなっているか。

〈福祉課長〉受給者の推移は、24年度107世帯で126人、25年度111世帯129人、26年度112世帯133人で微増となっている。

◎受給者は微増だが25、26年度は前年比2千万円以上増加している要因は何か。

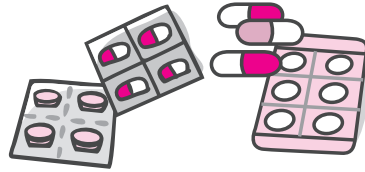
〈福祉課長〉26年度は、112世帯中、81世帯が高齢者又は傷病者世帯で、ガンや心臓大動脈など大きな手術が見込まれるため増加している。

◎ジェネリック医薬品の使用促進など、聞き取り調査や指導を行っているか。

〈福祉課長〉生活保護

法の改正でジェネリック医薬品の使用促進を促すことが可能になった。市内調剤薬局にも促進依頼しており、9月の使用実績は78%という結果だ。

◎今後ともしっかりと状況把握して頂きたい。



山口 正雄 議員

### 高齢者にやさしい 除排雪の実施は

◎市長公約の高齢者にやさしい除排雪は、どんな内容で、いつから実施するのか。

〈市長〉今年度は排雪

に力を入れる。高齢者の福祉的な取り組みは、来年度は何らかの工夫が出来るように進めていく。

◎高齢者は、この政策を待ち望んでいる。是非、来年度から実施してほしい。

### AED活用の周知 徹底を

◎公民館、学校に備えているAEDは、常に使える状態にしているか。

〈社会教育課長・学校教育課長〉その状況にある。

◎夜間、休日にAEDが必要なとき、公民館を開けてもらうために誰に連絡すればよいのか。鍵を預かっている方を、地区民に周知しておく必要があると思うがどうか。

〈社会教育課長〉今後、

徹底させるようにしたい。



◎地区民もAEDを使っているですよということも含めて周知頂きたい。また、夜間、学校の体育館を活用する場合、体育館にはAEDが設置されていない。保管場所の見直しについてどう考えるか。

〈学校教育課長〉命を守る事が大事だと思うので、設置場所について、管理面、台数面も含めて学校と検討させていただく。

佐藤 明 議員

### 福祉灯油の実施は

◎県の補助が示されたが、市としての対応は

〈市長〉今年度、県はかかった分の二分の一を補助すると決定した。市としても実施し、効果的に使われるようにしたい。

### ◎対象者の状況は。

〈福祉課長〉市町村が低所得者と認めた、市民税非課税世帯の高齢者のみの世帯、障がい者年金世帯、一人親世帯などの約1400世帯が対象。



## ハイジアパークの現況は

◎上半期でも入場者が鈍っているとの報告があったが、現況と今後の見通しは。

〈商工観光ブランド課長〉  
水害などの影響もあり、DESTINEーションキャンペーンでの入場もプールの入場者も少



眺望がすばらしい「ハイジアパーク南陽」

なかつた。消費税増税や物価、燃料費の高騰はかなりの経費増になり、今後も厳しい状況。◎料金や経営のあり方など今後の考えは。

〈商工観光ブランド課長〉  
何回かの取締役会で検討してきたが、入館・入浴料は大人（中高生含む）310円を540円に改

訂し、小学生210円と乳幼児無料は現行どおりとし、27年2月21日から開始としたい。2月16日から入浴部門のみを休業し、ロッカーの改修などを行う。新たなサービスとしてフェイスタオルの貸し出し、入浴10回に1回の無料、5回でアイスかコーヒーマシンのサービス。また、レストラン利用者は、値上げから2ヶ月間はドリンクバーのサービスなど、入館・入浴料も含め、案として出されている。

### 高橋 一郎 議員

#### 生活困窮者への学業支援は

◎27年度から生活自立支援制度が実施されるが、備品購入費30万円は何か。

〈福祉課長〉27年度実施は法人に委託したい。

その環境整備の予算。

◎相談支援は必須事業だが、任意事業で学習支援はやらないのか。

〈福祉課長〉ニーズ調査をして把握が必要。

◎貧困の連鎖や希望の格差は絶つべき。学習支援事業を要望する。

#### 荒廃森林緊急整備委託の減額は

◎231万円の減額理由

〈農林課長〉県事業の財源整理であり、減額は本市の事由ではない。

#### LEDで明るいまちづくりを

◎商店街のLED化の今後の計画は

〈商工観光ブランド課長〉  
随時受付している。  
◎ランニングコストは商店街が該当区か。

〈商工観光ブランド課長〉

ハード整備事業であり維持費の負担先は問わない。



LED化が進む赤湯駅前、赤湯本町商店街

支障が出ていないか、また、緊急時の除雪はどうなっているか。

〈建設課長〉緊急時の

除雪マニュアルは作っていないが、状況によって除雪センターで対応させていただく。直営の機械も常時配置しているので対応できる。

◎除雪業者は地区によって、除雪の仕方によってばらつきがある。丁寧な業者も、雑な方もいるので行政当局の指導・監督を要望する。

### 白鳥 雅巳 議員

#### 緊急車両を考慮した除雪になっているか

◎今月初めにドカ雪が降り、対応に追われたと思うが、市民からは不安の声がある。救急車・消防車の出動に、



# 答 弁 要 旨

## 米価下落による地域経済への影響を認識しているか！対策は！

船山 利美 議員



◎26年産米の概算金が平均で約2500円ほど下落している。地域経済への影響をどのように認識しているか。

〈市長〉作況指数は104となっており、米価は豊作と米余り等により下落した。農家の経営だけでなく、地域経済にも大きな影響を与えるものと認識している。◎作況は10a当り624kgと発表された。作況指数は玄米選別の網目が1.70mmの2S規格だが、本県は4ランク上の1.90mmの2Lで選別している農家が8割以上にのぼる。更に今年産は未成熟米が多く、マイナス要因を加味すると10a当り600kg弱。また、昨年より1等米比率が下がっている。そのような厳しい数値であることを承知しているか。

〈農林課長〉1等米比

率の低下、価格の低下等は承知しているが、現実のそこまでの数値は承知していない。

◎本市の収入減は単純計算で約3億1700万円。これは可処分所得であるから消費に直接響く。対策の一つとして地産地消推進や学校の完全米飯給食等はスピード感を持って実施すべきではないか。

〈管理課長〉米飯給食の回数を増やすことについては、専門の委員会を設置し、総合的に検討している。近く結論が得られると思う。◎吉村県知事は約5千人の県職員に「はえぬき」の「消費拡大県庁運動」を展開すると発表したが、南陽市でも取組めないか。

〈市長〉様々な課題もあろうかと思うので、庁内で協議し考える。

## 名称は「南陽市文化会館」で3月提案 民間の受入れ体制は万全か

高橋 一郎 議員



新文化会館の運営体制、担当課、企画運営の体制、委託部門は。

〈市長〉担当課は検討中。自主事業の企画発案は実行委員会を組織して、子供からお年寄りまで世代層にあつた事業をしたい。委託部門は、舞台設備、夜間及び休日の窓口業務、機械設備保守点検、清掃業務等を考えている。◎運営の応援組織は。

〈市長〉資金援助は他の会館を参考に検討。ボランティアスタッフや友の会等も募集する。◎利用料と減免措置は。〈市長〉近隣の同規模ホールの利用料を参考に3月議会に提案で検討中。受益者負担が原則。減免も考慮する。◎維持管理費及び運営経費の見込みは。

〈市長〉施設管理等の経費見込みは1億円程

度。運営経費も助成事業を活用するが両経費とも一般財源から支出。◎赤湯温泉への宿泊は。

〈市長〉出演者や興行スタッフを赤湯温泉に宿泊するように旅館組合と協議中。来館者には宿泊優遇特典等の検討をしている。◎パッキングは。

〈市長〉旅行エージェントへPRし、市内関係団体と協力して文化旅行商品を造成する。◎先進地視察と観光の受け入れ体制は。〈市長〉完成後も視察の依頼が多くなるので旅行エージェントとタイアップし、視察と観光、食事、観光案内等を盛り込んだ旅行商品を作成している。◎ふるさと納税品目に。

〈市長〉プレミアムチケットを考える。

## 7月の集中豪雨災害時の 対策本部の対応は！



梅川 信治 議員

◎災害対策本部と災害現場の連絡体制は。

〈市長〉災害対策本部員の消防団長と各分団の情報交換で対応した。

◎避難勧告はどうか。

〈市長〉避難勧告は非常招集した職員が、当該地区長に電話で連絡し、住民への周知をお願いした。

◎防災座談会での主要望や意見は。その対応は。

〈市長〉防災無線の整備、避難勧告、避難所のあり方、河川改修など多くの意見があった。避難対応については、避難勧告等のマニュアルを策定し判断に遅れが無いようにする。防災行政無線の整備は27年度に実施できるように県との調整を行っている。避難所のあり方については、移動に時間を要さない自治会集會

施設を一次避難所。現在の指定避難所を二次避難所とするなど、改善策を検討する。

◎公共下水道への排水路の整備計画は。

〈市長〉桜木町4区の南側に抜ける雨水幹線とその支線の整備は設計に取り掛かっており、来年度にも工事に着手。

◎吉野川、織機川の災害復旧工事の概要は。

〈市長〉地元関係者の理解と協力を得るため、事業計画の説明会を11月27日から12月18日まで赤湯、金山、漆山、宮内で開催した。

◎吉野川、織機川への雨量計の設置は。

〈市長〉国道348号の小滝地内に道路管理用の雨量計が設置されているので、県と連携を予定。織機川については、今後も県等に設置要望をしていく。

## 見守り事業の拡充を求め 中学校武道正課をもっと幅広く



片平 志朗 議員

◎高齢者は住み慣れた地域で安心して生活ができることを望んでいる。行政、地域でできるサポートが必要である。本市ではどのような事業を展開しているのか。

〈市長〉市内には214名の要支援者が登録している。まずは一人暮らしや高齢者世帯が増えていくことが予想される。自主防災組織と連携して取り組む必要がある。また、見守り活動を県と協定を結んでいる事業者が7事業者となっている。

◎見守り事業を進める上での課題は何か。

〈市長〉認知症高齢者も同じように増えること見込まれることから、地域全体で見守りを支える体制の構築が課題だ。

団塊世代が後期高齢

を迎える2025年を見据え、住まい・医療・介護予防・生活支援などのサービスが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指し、第6期介護保険事業計画の策定に取組んでいる。

◎本市の3中学校は柔道を武道正課にしているが、もっと幅広く取り組みができないか。

〈教育長〉柔道以外の武道を取り入れた場合は、用具の購入、メンテナンスや衛生管理等の経費負担と新たな指導計画書の作成や指導者の育成等が課題となってくる。

しばらくの間は柔道を継続し、剣道等の他の武道についても、種目の特性や伝統的な考え方など授業に取り入れたいと考えている。

# 一般質問と答弁要旨

## 市民の声を 来年度の予算編成に!!

佐藤  
明議員



- ◎4月に消費税率を5%から8%に引き上げて9ヶ月、国民消費は一気に冷え込み、いまだに回復していない。国内総生産（GDP）も2期連続で後退している。この状況の中で白岩市長は初めての予算編成に、市民の声をどう反映するか。
- 〈市長〉歳入は26年度と比較して5%減額の見通しで、税収も楽観できなく、自治体にとって厳しい状況だ。今後、豪雨災害対策、新文化会館完成による予算など長期計画の視点に立ち、これまで以上の効率化、効果的運営を行い、市民生活向上に取り組んでいく。
- ◎公約と重要政策は。
- 〈市長〉第5次総合計画の後期計画を来年度策定するので、その中で具体化したい。
- ◎長引く不況の続く中で地元商工業者の営業と暮しをどう守っていくのか。また、福祉や医療、子育て支援と教育等々の施策は。
- 〈市長〉円安などによる原材料や燃料価格高騰もあいまって、地方経済は一層厳しい状況が続いていると認識している。国や県の施策を活用し関係機関とも連携し支援に努める。福祉やほかの施策も極めて重要なので、対話を通じて予算編成に取り組む所存。
- ◎2年連続の大水害、新文化会館建設費の増高等、課題は山積している。市民から「市の財政は大丈夫か」「市民サービス低下にならないか」などの声にどう対応されるのか。
- 〈市長〉直接影響がないよう努めていく。

市議会の災害対策特別委員会（殿岡和郎委員長）は「防災対策要望書」を国・県を含めた29項目に取りまとめ、11月6日に南陽市議会（遠藤榮吉議長）として白岩孝夫市長に手渡した。

### 災害対策特別委員会 防災対策要望書

#### 1 市への要望

- 避難場所と方法の検討
- 自主防災組織の日頃の訓練、活動強化
- 隣近所・地区内の結束、自助、共助の啓蒙
- 小滝、荻、太郎地区、織機川の上流に雨量計設置
- 荻中央線、東向地区の早期復旧と土砂流出防止施設設置
- 側溝の蓋あけ器具を各地区に配備
- 菅蒲沢川の抜本的な改修
- 関口住宅のトイレのかさ上げと水路の改修
- お年寄りへの災害伝達手段の再検討
- 農用地、宅地への流入土砂の捨場の確保
- 災害時の重機の手配、地区外からも含め対応
- 現地にも災害対策本部を設け、現場に合った対策を
- フラワー長井線による排水不良地の改良
- 砂塚地区の側溝整備を下流域から早期に
- 災害時の対応は危機管理課一本に統一
- 災害対応は緊急を要するため、危機管理課は1階に
- 市管理河川の流木処分及び河川隣接地の立木の伐採と早期処分（行政側での強制的処分）

#### 2 国・県への要望

- 吉野川及び織機川の上流に砂防ダムの設置
- 国道13号を横断する赤湯清水町、北町等の暗渠改修
- 赤湯、大橋地区の河川合流地点の改修と水門の設置
- 一級河川隣接地の立木の伐採と早期処分
- 金山、尾島地区、宮内北部の急傾斜地の改修
- 中川地区前川の大改修の早期着工
- 中川、小巖橋の早期開通
- 漆山地区西北部の急傾斜地指定の見直し
- 二次災害を防ぐため流木処分の早期対応
- 住民への河川改修の説明は早く具体的に
- 災害を未然に防ぐ森林対策を徹底的に
- 梨郷地区の北西側に土砂崩れ防止工事の実施





# 子ども子育て支援法等に基づく基準条例の設定

## 文教厚生 常任委員会

12月12日、文教厚生常任委員会を開催した。付託の議案6件は審査の結果、全員異議なく原案のとおり可決した。

◎特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の設定

◎家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定

◎放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定

子ども・子育て支援法および改正児童福祉法に基づく基準条例設定であり、国基準を市の基準とするもの。

◎指定介護予防支援等の事業の人員及び運営

並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の設定

◎地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の設定

いずれも地方分権一括法による改正介護保険法に基づく、基準条例の設定であり、国基準を市の基準とするもの。

◎福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定

「母子及び寡婦福祉法」の法律が「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に改められたことによるもの。



### 管内視察レポート

10月27日視察実施

#### ◆宮内認定こども園

今夏完成した木の温もりに満ちた新しい園舎で、南陽市初の認定子ども園として新たなスタートを切った「学校法人 南陽学園」。地域の保育ニーズに応え、ゼロ歳児からの保育機能も兼ね備えた幼保一体型で、幼稚園部75名、保育園部50名と受入定員も増加。



宮内認定子ども園

食育を大切に、ランチルームでの手作りの温かい給食は子ども達にも大好評とのこと。

#### ◆千代田クリーンセンター

置賜3市5町の広域行政事務組合では、ごみの発生抑制、再資源化を図り、循環型社会の実現を目指すことを目的としている。



千代田クリーンセンター

しかし2年続きの豪雨災害では、家屋の浸水等による罹災可燃・不燃ごみを大量に受け

入れたいただいた。

#### ◆浅川最終処分場

豪雨災害で住宅地等に流入した土砂の量は年間処理量の61倍、約8000t。そのうち5000tを処理する。年間搬入量上限の130tを拡大し、受け入れた。 (委員長 吉田 美枝)



浅川最終処分場

# 総務 常任委員会

## 請願 「集团的自衛権の行使反対 意見書提出」を採択

12月11日・19日、総務常任委員会を開催した。付託された議案は「集团的自衛権の行使に反対する意見書の提出」についての請願1件。この請願は、集团的自衛権の行使容認の閣議決定を撤回し、行使のための立法措置を行わないことを国会及び政府並びに関係機関に対して意見書を提出するもの。

審査にあたって、紹介議員より請願の趣旨と目的について説明を受けた。

委員からは内閣によって憲法解釈が変更されれば、憲法そのものの存在意義が問われ、9条（戦争放棄と恒久平和）が骨抜きになってしまうのではないかなど意見が出された。審査の結果、全員異議なく、採択した。

# 産業建設 常任委員会

## 管内視察レポート

### 10月20日視察実施 ◆アルストロメリア栽培施設

市内には5名の生産者があり、13haの栽培面積で6700万円の生産高とのこと。球根が特許製品のため毎年購入となり、また、燃



アルストロメリアのハウス内

料等も含めコスト面での苦勞もあった。

### ◆第102回南陽の菊まつり会場

10月17日に開園した菊まつり会場を視察。今年は菊花の育ち具合も良く、また菊人形の場面も六場面と多く、見ごたえもあった。

また、湯茶接待もあり創意工夫されていた。



菊まつり会場

### ◆小廠橋、吉野橋災害復旧現場

両橋とも9月末に仮橋が完成。重量制限等があるが、早期の対応で良かったと思った。小廠橋の仮設には2機の



吉野橋



小廠橋

防犯灯の照明も設置され、安心して通行できる。なお、早期の仮復旧だが新設橋の建設を強く要望したい。

### ◆東の麓酒造

翌日からの新酒の仕込みを控え、数種類の吟醸酒等の説明を受けた。南陽市に一社しか



大浦ぶとう酒

### ◆大浦ぶとう酒

7月の豪雨被害で製造再開も心配された。会社挙げての復旧努力でようやくワインの仕込みも済み、大変すばらしい赤湯ヌーヴォーに仕上がっていた。



酒造元 東の麓

# 置賜広域行政事務組合

- 25年度は黒字決算
- 第3期浅川最終処分場の用地取得始まる

11月定例会は25日、米沢市議会棟で開催され、各会計決算および26年度補正予算について審議されすべて可決された。一般会計では、9353万円余りの黒字決算。

- ◎ 25年度一般会計決算
- ◎ 25年度ふるさと市町圏特別会計決算
- ◎ 25年度消防特別会計決算
- ◎ 一般会計補正予算
- ◎ 26年度消防特別会計補正予算
- ◎ 組合有財産取得について（最終処分場用地取得）

◎ 基金の設置、管理および処分に関する条例の制定



平成32年で満杯になる浅川処分場

コスト削減に努めていた。埋立処分場については、焼却施設から発生する灰、不燃物の埋立処理、枝葉草の自己搬入にともなう一時保管場所の状況を視察した。

燕市については「ふるさと市町村圏計画」を策定し、そのキャッチフレーズに「選べる広域連携」を掲げて市民に親しめる工夫をしていた。

## 管外視察レポート

◆ 将来を見据えた、長寿命化計画

9月30日、新潟市亀田清掃センター、第四赤塚埋立処分場、翌日には燕三条地場産業センターを視察した。清掃センターについては、長寿命化計画に基づき基幹改良工事に着手しており、将来の

# 置賜広域病院組合

置賜広域病院組合議会10月定例会は10月28日、南陽市議会議場で開催され、25年度会計決算、26年度補正予算が審議され、いずれも認定された。

## ◎ 25年度事業会計決算

入院、外来患者数ともに減少しているが、診療報酬の改定により患者一人当たりの診療収入が上昇していることから、医療収支比率は93.1%で前年度比0.9%上昇した。

## ◎ 26年度補正予算

国からの交付金が確定したことにより、今年度の患者の動向、収支見通し、予算の執行状況等を踏まえ、構成団体負担金の精算（返金）するための予算措置を行うもの。

## 行政視察レポート

◆ 震災時に活躍した石

### 巻市赤十字病院

置賜広域病院は地域の総合病院として、災害拠点病院に指定されている。大規模災害が発生した場合は、被災者や傷病者の受け入れをはじめ、医療救護活動の拠点としての役割を果たすことが求められる。より質の高い医療機能の充実と強化を目指すための行政視察をした。

東日本大震災が発生した際、甚大な被害を受けた宮城県石巻市赤十字病院と仙台空港および名取市閑上地区における震災からの復興状況について、11月4、5日の両日現地調査を行った。赤十字病院は自家発電電気を所有しており、



看護師から説明を受ける置病議員

一日に1251人もの救急患者を受け入れた。さらに300カ所まで膨れあがった避難所への医療提供や実態把握についても、病院の医師自らが対応した。災害時救急医療のモデルケースとして内外から高く評価された。大規模災害があつたときの基幹病院の果たす重要性を強く感じた。

（置病議員 殿岡和郎）

# 新文化会館建設は最大68億円に膨張

## 可決 人事委員会勧告による給与条例

11月  
臨時会

### あらまし

第4回臨時会を11月21日に開催した。市長が専決処分した豪雨災害の義援金と土砂処分費用、米価下落対策利子補給については承認。総務常任委員会で審査された一般職、特別職の職員の給与に関する条例改正、新文化会館建設と備品及び給与人件費の補正は全て可決した。

新文化会館の増額補正により総額は61億円に。舞台機構など27年度当初予算で発注するものを合わせると、最大68億円に膨らむことが明らかに。市長は経費節減を示したが、事業費増高の理由や全体予算について、当局の考えをただした。

### 予算特別委員会

**新文化会館の増額補正**  
 建設工事 3億9,049万円  
 備品購入 6,100万円  
 災害義援金、土砂災害処理の市長専決  
 米価下落利子補給も可決

### 新文化会館を問う

川合 猛 議員

◎前市長は経費削減を約束した。総額を包みかくさず提示するよう意見したが、実行されていないのではないか。

◎今回の追加では61億円だが、最終的に一体いくらかかるのか。

〈市長〉最大68億円。

文化会館特別委員会の起債制限額9億6千万円は超えるが市民生活に影響なくしたい。

船山 利美 議員

◎消費税が増えずに地方交付税が減額したら生活に影響あるのではないか。

〈市長〉必要に応じて効果の薄い事業は見直すこともある。

高橋 一郎 議員

◎工事費の大幅増が見込まれたらすぐ、議会に提示するべきでは。

〈文化会館整備課長〉

正確な金額を確認できたのが10月。今後はタイムリーに報告する。

◎完成検査が大丈夫だが検査体制は大丈夫か。

〈文化会館整備課長〉

県の工事検査課、営繕

室の指導を受ける。

片平 志朗 議員

◎工期延期願いは出ていないか。今後、労務単価の増はあるか。

〈文化会館整備課長〉

3月までの工期は変わらない。公共労務単価改定は4月なので今後労務費の増はない。



建設中の新文化会館

### 総務常任委員会

◎南陽市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎南陽市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

制定について

本案は、今年の人事

院勧告及び山形県人事

委員会の給与勧告に伴

う条例改正。一般職は

月例給与平均0.29%、

勤勉手当0.2月、特

別職は期末手当0.15

月引上げを行うもの。

県内の一般職の給与改

定状況は山形県と11市

が県人事委員会勧告ど

おり引上げ。特別職、

一般職合わせた引上げ

額は年2583万円ほ

ど。

質問 ①何年ぶりの改

定か。②特別職の範囲

と引上げの理由は。

回答 ①7年ぶりで他

市町も同様。②対象は

市長、副市長、議会議

員で、今回の引上理由

は一般職の手当支給率

との均衡を図るため。

意見 一般職の引上げ

は地域発展のため必要

審査の結果 全員異議

なく原案のとおり可決。

## 編集委員会 視察報告

私たち議会報編集委員会は、市民のみならず読まれ親しまれる「なんよう議会だより」をめざして、研修視察をしている。今回は、全国町村議会議長会広報コンクールで編集・デザイン部門奨励賞を受賞している埼玉県寄居町に10月29・30日と視察しました。

まずは、素朴な疑問を聞きました。編集予算は当市の4倍で393万円もあること。寄居町の議会だより「お元気で」か寄居議会です」の発行部数、回数、页数、カラー頁は表紙と裏表紙それぞれ同程度です。答えは、編集委員会に印刷業者が加わり、レイアウトやデザインをその場でパソコ

ンに現わして、即座にできることでした。

また、特徴的なものとして、①カラー表紙は統一テーマで「よりのえがお」を4年間続けていくこと。②次ページの記事紹介や用語解説（一口メモ）を入れてわかりやすくしている点でした。

当市としては、編集委員会にプロを入れていくのは予算上、難しいので、素人ですがデザインとレイアウトを工夫していくことがさらに必要と感じました。  
(委員長 高橋 一郎)



## 山形県市議会議長会 議会報研修会

11月7日、寒河江市を会場に「市民とつながる議会報づくり」のテーマで、東北芸術工科大学文芸学科講師の藤原千尋氏を迎え研修会が行われました。

「市議会だよりには、市民の暮らしに関わる重要な決まり事がたくさん載っている。一方通行のお知らせではなく、市政と市民をつなぐ架け橋にしたい…」

「そして、一人でも多くの市民に積極的に読んでもらいたい。できれば20代30代の若い人たちにも」というわけで、編集を学ぶ学生に何点かの市報を見てもらったのコメント



トを「表紙の写真が重要。晴れやかな写真は目を引くし、こども

の笑顔はいいよね。タイトルやロゴも重要、手書きもいいし、若者を狙うならおしゃれなロゴがいいよね。」などなど。その後、各市の市報へのアドバイスをいただいた。私たちもより多くの方に読んでいただけるよう他紙の良いところも勉強し、努力していきたいと思っています。  
(編集委員 板垣致江子)

## 置賜二市二町議員 親善交流会

9月29日 高島町で議員72名が出席して置賜二市二町の議員親善交流会が開催された。

研修の部では、東北芸術工科大学デザイン工学部 建築・環境デザイン学科准教授 渡部桂氏を招き「ランドスケイプの意味と価値」と題しての講演をいただきました。専門は地域の環境・資源・風土を基盤とした空間及び景観整備、持続可能な地域づくりを実践中。

福島県三島町、宮城県気仙沼市、石巻市における被災地支援に力を注いでいる内容でした。

また、スポーツ交流の部では、中央公園多



目的広場のグラウンドゴルフ場で、各市町ごとの団体戦形式で、プレーを楽しみ南陽市議団が優勝の栄に輝きました。  
(編集委員 高橋一司)



# ニューイヤー 駅伝応援記

## 2015

27年元旦、市民の期待と希望を背負った南陽市役所陸上部の選手たちが、ニューイヤ駅伝の上州路100kmを力走。順位は34位と昨年より2つ上げ、タイムも5時間10分47秒で3分44秒アップした。  
70余名の応援団も熱く声援を送った。  
(編集委員 船山利美)



1区高崎中継所 櫛リレー  
大谷からジョセフ “たのむぞ!”



白岩市長、遠藤議長も沿道で声援!



4区 抜けっ! 駿!!



6区 長柴スパート!

### 表紙の写真

家族そろって初詣!

当日はおだやかな天気に恵まれ、静寂な夜空に除夜の鐘が響き渡った。老若男女は、それぞれの思いを込めて、心静かに神前に拝礼した。写真は烏帽子山八幡宮で参拝する家族の様子。  
(編集委員 片平志朗)

### ご理解ください

南陽市議会議員一同は、政治倫理の確立を期するため、年賀状などの時候の挨拶状(答礼のため自筆によるものを除く)、諸行事、会合での一切の寄付などは行っていません。市民のみなさんのご理解とご協力を願います。  
公職選挙法の規定を守り、虚礼禁止を申し合わせています。

### 編集後記

新年おめでとうございませう。  
今年の干支は「未」。群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味するそうです。  
昨年は2年連続の豪雨災害に見舞われましたが、今年も穏やかで平和な年、そして希望の持てる年であってほしいものです。

議会だよりは、今年も市民のみなさんにわかりやすく、読みやすい紙面づくりととも、新たな試みも考えていきたいと考えております。ご愛読いただきますようお願い申し上げます。(山口)

委員長 高橋 一郎  
副委員長 船山 利美  
委員 高橋 一司  
山口 正雄  
片平 志朗  
板垣致江子